

設備貸与

株式会社
八郎潟印刷お客様を喜ばせたい。
堅実一路を社是として
地域密着の印刷業を営む気軽に相談してもらえる
関係性を大切に、
提案力を高めていきたい！

印刷はもちろん、デザイン制作も行う

今年で創業53年を迎える株式会社八郎潟印刷。代表取締役の工藤幸子さんの夫が20歳のころ、印刷業の経験を活かして開業したのが始まりだ。初代が退任することとなり、工藤さんが代表取締役に就任したのは、平成14年のこと。拠点である八郎潟町を中心に、中央地区・県北地区に事業を展開している。

チラシやポスターの印刷を始めとし、冊子制作（パンフレットや記念誌、広報誌）の案件などの受注も行っている他、自社にデザイン制作を行う部門もあるため、デザイン提案のコンペティションにも積極的に参加している。

設備として、印刷機は5色機、2色機、単色機を備えている。印刷業は紙代や刷版代などコストがかかるうえ、昨今の原料高騰の影響を色濃く受けている。また、地域の仕事を多く受ける特性から、ロットが小さい案件が多いのが特徴だ。そこで同社は、印刷枚数に合わせた印刷方法などを提案し、顧客にとってもメリットを感じられるよう丁寧な対応を行っている。

自社の業務範囲を広げ、顧客を喜ばせたい

印刷業は設備の更新も定期的に行う必要があり、昨年印刷機にかける版を作る「CTP」という機械を、現像処理を行わなくてもよい「無処理版CTP」に更新した。現像液や定着液が不要となり、環境負荷の軽減や作業効率の向上になった。

今回のCTP更新には、開業当時から相談している活性化センターの設備貸与と制度を活用した。

「ハード部分の相談ができ、設備貸与の制度を活用できるのは本当に助かっています。これまでも経営に関わるさまざまな相談をしてきましたが、いつも心強く感じています」と工藤社長。

今後は、請け負える業務の幅を広げていきたいと考えているという。

「社員からも積極的に新しいことに取り組みたいという声があります。例えば、ドローン撮影のサービスも社員の声から実現しました」。

地域の企業から学校まで、これまで印刷を行ってきた取引先との付き合いに誠実に向き合いながら、より多くのお客様に喜んでいただける企業となるよう、取り組んでいきたいと語った。



くどう さちこ

代表取締役 工藤 幸子

株式会社 八郎潟印刷
〒018-1606
南秋田郡八郎潟町夜叉袋字沖谷地241-3
TEL: 018-875-4005
<https://www.hachiprint.jp/>



HP

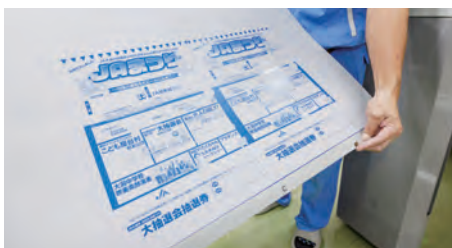
▶活用事例
設備貸与

設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。

【お問い合わせ】
設備支援課
TEL. 018-860-5620



同社の強みは地域密着スタイル。
ロットの少ない会報誌などの印刷も請け負っている。



設備貸与の制度を活用して更新したCTPで作った版。
印刷業にとっては、必要不可欠の設備だ。



自社に備えている制作部門の様子。
顧客からもらった原稿を元に、DTPによる組版を行っている。